食味・収量センサ

取扱いのポイント

Kubota

● 自動脱こく制御装置の作物選択は，食味・収量の測定値に影響するため間違えないでください。

食味センサ

収穫作業と同時に生もみの水分とタンパク質含有率（稲のみ）を測定し，その結果をマルチナビに表示します。（裏面参照）

収量センサ

収量センサはグレンタンク内のこく粒の重量を測定し,その結果をマルチナビに表示します。(裏面参照)
また,こく粒の排出前に収量測定を行なうことでこく粒の重量と15%の水分で換算した乾燥重量をマルチナビに表示します。

収量測定のしかた

平たんな場所に停車

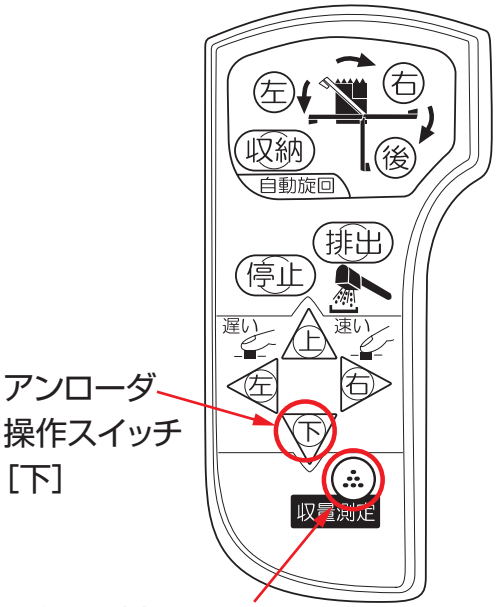
主変速レバー	[停止]
機体（モンロー）	[最下限]
刈取部	[最上昇]
作業レバー	[切]
アンローダ	[収納]
楽刈アクセル	[切]
エンジン回転数	[最高回転]

ER575・590・6100・6120
アンローダ操作スイッチの[下]を押す。
さらに,2～3秒程度[下]を押し続ける。

ER 460・470

マルチアンローダリモコンの収量測定スイッチを押す。

電子音とともに結果を表示。



アンローダ操作スイッチ[下]

収量測定スイッチ

●こく粒の重量
●15%の水分で換算した乾燥重量

こく粒重量 678kg
乾燥重量 600kg

収量測定中はアンローダ操作を行なわないでください。測定中にアンローダが動くと正確な測定ができません。

● 収量センサのゼロ点補正及びこく粒重量警報の設定については，食味・収量センサの取扱説明書を参考に必要に応じて行なってください。

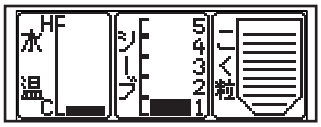
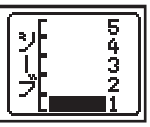
重要 ＊ 食味センサは測定精度を維持するために,毎年メンテナンスが必要です。
毎シーズン終了時,購入先に連絡しメンテナンスを受けてください。

※この取扱いシートは食味・収量センサを取扱う上での最小限のポイントのみ説明しています。
詳細は取扱説明書を参照してください。

AS. L. 3-3. 2. K　品番 5H911-8554-2

食味・収量センサに関係する主なマルチナビの表示は下記の通りです

通常作業時

	エンジンの水温，脱こく機の選別板（シーブ）上のこく粒の量，グレンタンク内のこく粒の量を表示します。
タンパク 6.3% 水分 17.4%	こく粒のタンパク質含有率と水分含有率の最新値を表示します。 （稲以外の場合，タンパク質含有率は測定されません。表示：0.0%）
平均タンパク 6.1% 平均水分 20.0% 積算重量 1000kg	こく粒のタンパク質含有率と水分含有率の平均値，収穫したこく粒の積算重量を表示します。 （稲以外の場合，タンパク質含有率は測定されません。表示：0.0%）
作業開始	この状態で表示切換えスイッチを長押しすると，平均タンパク質含有率・平均水分含有率・こく粒積算重量をリセットします。 （新たなほ場で作業開始するときなどにリセットすると，ほ場ごとのデータを測定することができます。）
こく粒 119 kg 	グレンタンク内のこく粒の重量，脱こく機の選別板（シーブ）上のこく粒の量を表示します。
燃料消費量 0L 表示切換スイッチ 長押しで0リセット	燃料の消費量を表示します。 （表示切換えスイッチ長押しでリセットします。）

表示切換えスイッチを押すことで画面が切換わります

異常発生時

食味センサ異常	食味センサの異常で測定ができないときに表示します。
近接センサ 点検する	食味センサ内の近接センサの異常で測定ができないときに表示します。
収量センサ異常	収量センサの異常で測定ができないときに表示します。
収量センサ 点検する	収量センサの値が異常のときに表示します。 （グレンタンクが満杯なのに，収量センサ値が異常に低いときなど。）

購入先に連絡してください

収量測定誤操作時

収量測定 スイッチを押す	**水平な場所で 測定して下さい**	**アンローダ を収納する**
機体を 下限にする	**脱穀クラッチ を切る**	**刈取部を 上昇する**
機体を 停止	**エンジンを 高回転に**	

収量測定の際に条件を満たしてない場合や，誤まった操作を行なったときに表示されます。
表示された内容にしたがい操作してください。

電子音とともに画面に表示します